



2015

—— 創立20周年記念誌 ——

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会

ごあいさつ



TSIE会長

福田 泰造

TSIE（常滑市内児童生徒国際交流推進協議会）、創立20周年を迎えるにあたりご挨拶を申し上げます。

ご高承のとおり、常滑ライオンズクラブから受継いだTSIEの国際交流事業は1995年に常滑東小学校から始まりました。そして現在に至るまでの20年間に亘りISSE本部の適切なご助言に加え、市内各小学校の実行委員会、先生方、PTA役員そして地域の皆様方諸賢のご支援と、歴代TSIE役員の方々の並々ならぬご努力、ご指導により、今に見るTSIEの姿を具現したことは、会員の皆様方とともにご同慶至極に存ずるところであります。

本年は節目の20周年に当たりますので、これを記念して式典、祝賀会の開催と創立20周年記念誌の発行を致します。これらの事業は、TSIE会員はもとより多くの皆様のご支援ご協力によって成立致します。多くの皆様のご参加を期待申し上げます。

さて、先の15周年以来今回までの5年間に国際交流事業を中断していました鬼崎南小学校の事業が再開され、鬼崎北小学校も事業開始の検討を始め市内9小学校全ての足並みが揃います。そして、各年度の事業としましては、通常総会において、過年度の事業及び決算のご承認、さらに当該年度の事業計画、予算案のご審議を得て着実に事業を推進してまいりました。各事業校の派遣・受入事業及びISSEカンファレンスへの参加などです。ただ、世界中で猛威を振るった新型インフルエンザ等のウイルスが事業実施を妨げ、TSIE役員会や各小学校の実行委員会ではその対策に苦慮してきたのも事実であります。

TSIEでは、セントレア開港以来常滑市が掲げている「世界に開かれた生活文化都市」をコンセプトとする街づくり事業に子ども達の国際交流事業を通して参画して参る所存です。その為、各小学校の皆さんと一緒に子供たちの国際交流事業を通して街づくりから地域づくりへ、そして国づくりにまで発展させ、常滑から世界に羽ばたき活躍する国際人（常滑人）の育成に役立てればと考えます。

終わりにあたり今後ともTSIEに変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。



常滑市長

片岡 憲彦

常滑市内児童生徒国際交流推進協議会（TSIE）の創立20周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

TSIEの皆様は、児童生徒の国際交流事業を通して街づくりにも積極的に参画していただき、常滑市が掲げる「世界に開かれた生活文化都市」の実現に向けて、20年の長きにわたり多大な貢献をしてくださっています。福田会長様をはじめ役員の皆様、そして各学校の実行委員・教職員の皆様の日頃のご努力に対しまして、心より敬意と感謝の気持ちを表します。

さて、TSIEの派遣事業・受入事業では、児童生徒の国際理解がより一層深まるだけでなく、日本や常滑市のよさを再発見するなど大きな成果がみられます。これも、準備から運営までご尽力されてみえるTSIEの皆様のおかげと深く感謝しております。今後も貴会の活動がさらに発展されますことを心よりご祈念申し上げます。



常滑市教育委員会
教育長

加藤 宣和

TSIE創立20周年のお祝い申し上げます。そして、長年に渡る活動に対し、TSIE及び各学校の関係者の方々に心より感謝申し上げます。

常滑の子どもたちはTSIEの受入れや派遣事業を通して、言葉は通じなくても、心が通じ合えることを感動しながら体験的に学びます。カルチャーショー等は子どもたちに日本や常滑を見つめ直す機会となり、保護者や地域の方々の支援は子どもたちに感謝する心や地域を愛する心を育てます。国際社会の中で生きる子どもたちにとって、大事なことは、日本や常滑に自信と誇りを持つことです。このTSIEの活動は子どもたちにそれを教えるよい機会になっています。

TSIEの活動がこれからも益々盛んになり、発展することを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



国際交流協会
会長

市原 昌

TSIE20周年おめでとうございます。

これ程の期間、しかも多くの国との間で、市内のほとんどの学校が参加している国際交流活動は、日本中でも常滑だけで行われており、私達もとても誇りに思っています。

20年間には多くの方々の大変なご努力があつて進められたことで、あらためて皆様に敬意と感謝申し上げます。

常滑では10年前に国際空港が開港し、私達市民は世界をより身近に感じています。

TSIEで国際交流を経験した子供達の中には成人して外国とのかかわりの多い仕事で活躍している人も多くいることでしょう。

日本の国際化は、私たち日本人一人一人の今日の生活や近い未来に関わっています。

国際化とは、私たちが今向かいあっている挑戦なのです。国際交流をつうじて地球市民と言う意識を学ぶことがとても重要です。

これからも、ますますTSIEの国際交流活動が活発に進められることを願っています。



常滑ライオンズクラブ
会長

伊藤 誠

TSIE創立20周年を心よりお祝い申し上げます。

ライオンズクラブは、モットーの「We Serve」に基き、将来有る青少年への教育・国際交流支援、社会環境・社会福祉の健全化等々へ視線を置き活動しております。

1990年頃、当時の常滑北高校とオーストラリアロービル地区の野球チームとの国際交流に当たり、ロービル地区での児童の国際交流活動情報を常滑ライオンズクラブ関係者が耳にしたことを発端に、常滑市に於いても児童の国際交流実施への機運が盛り上がりました。

国境、人種、異文化の壁を越えた相互理解の大切さに着目し、常滑東小学校へ6名のオーストラリアロービル小学校児童の体験通学・ホームステイ事業を常滑ライオンズクラブが主催したのが、1994年です。これを機に常滑市内児童生徒国際交流推進協議会(TSIE)が、設立出来たと伺っております。

設立当時に関係された方々の先見的国際交流感覚は素晴らしく、また20年の長きにわたっての継続のご苦勞は、まさに敬意にあたいするものです。

今後のTSIE活動の益々のご発展を祈念すると共に常滑ライオンズクラブよりの支援継続を約束し、お祝いの言葉といたします。



常滑市議会議長

加藤 久豊

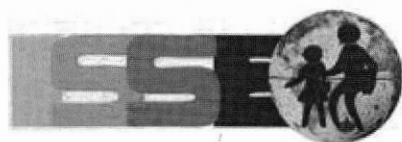
常滑市児童生徒国際交流推進協議会TSIEの創立20周年おめでとうございます。この派遣事業にあたり、TSIE関係者、そして各学校の実行委員会の皆さんのご尽力に心より感謝申し上げます。

他国の子供たちとの交流を通し成長していく過程は、子供たちにとってかけがえのない財産であると思いますし、中部国際空港セントレアを市域にもつ、常滑市にとっても国際感覚豊かな子供たちの経験は、今後のまちづくりに活かされていくことと思います。

また、受け入れ事業においても、他国の子供との交流は、子供たちの国際感覚を効果的に引き出し、まさに地球市民としての自覚を促されることと思います。

世界との距離は近くなった昨今、これから日本は益々国際化が進んでいくことでしょう。その時代に活躍される人財は、まさにTSIEの経験者なのかもしれません。

常滑市議会としても、貴会の意義を充分理解し、支援を進めて参ります。貴会のこれからの発展を心よりご祈念いたします。



International School to School Experience

ISSE（国際、学校と学校との体験）を代表し、私たちは日本の常滑市にある児童生徒らの交流に貢献するTSIEの20周年記念に関われることを光栄に思っています。これを祝することは双方の組織にとり名誉なことと思います。児童らの知識を増やすこと、世界と人々を理解すること、この共通な目的は、双方の児童生徒や主催者たちにとって多大なる利益となっています。私たちは、TSIEが常滑市全体の国際交流プログラムの中でISSE交流を必要不可欠のプログラムとして、引き続き考慮してくれることを希望しています。

派遣受け入れ双方のプログラムに参加した児童らは、互いに尊敬しあい、他国の文化に敬意を払うようになります。学校や地域にさまざまな可能性を見せてくれます。言い換えれば、より広い国際的コミュニティの一員となった時、自分自身に価値があり、自分の国を代表する優れた人間であると自覚することを立証しているのです。

TSIEがさらにもう20年継続することを願っています。私たちは、引き続き福田さんや都築さんと関わっていくことを楽しみにもしています。

ISSE本部 ベブ・キャンベルさんとスー・ボルドックさんより

ホストファミリーの喜怒哀楽

津田 裕美 (2013年 三和小 マレーシア ホストマザー)

できるかな、大丈夫かな。そんな思いはハジャと過ごすうちに消えていきました。

長女は、受け入れ期間中お姉さんができて嬉しくて仕方ない様子。長男、次女も親の心配をよそに交流を深めていました。ハジャが帰国してから知りませんが、あまりしゃべらなかったのは母親の私のみ。なんておとなしい子だと思っていましたが、祖父母・夫・子どもたちとは笑い声をあげて話し、長女は夜枕投げをしたそうです。私一人気負いすぎていたようです。期間中唯一の家族行動日に次女が発熱というトラブルもありましたが、他の受け入れ家族の協力の下、共働き・夜勤あり(12時間勤務)・土日祝日関係無しのが我が家でもできました。このような、貴重な体験をさせていただきTSIEに感謝します。



平野 太一 (2013年 大野小 メキシコ ホスト児童)

ぼくは、メキシコからやってきたマテオのホストファミリーをしました。マテオが来る前は、3週間はとても長いような気がして、本当にうまくやっていけるのか少し不安な気持ちもありました。でも終わってみると、あっという間の3週間でした。

マテオはいつも陽気でしゃべりやすく、おもしろい子でした。ぼくたちにチェスを教えてくれたり家族でトランプをしたり、マイケルジャクソンの曲に合わせて踊ったりして楽しく過ごしました。長島スパランドや名古屋城にも行きました。

一度マテオがうちでタコスを作ってくれました。具は豆のペーストとチーズ、チリソースでした。見た目はそんなにおいしそうに見えなかったけれど、食べてみたらとてもおいしかったです!

空港での別れは寂しかったけれど、今度はマテオにメキシコを案内してもらうことを約束しました。ぼくにとってマテオと過ごした3週間は本当にいい経験になり、そしてすばらしい思い出になりました。これからも海外の子との交流を続けていきたいです。



吉田 彩奈 (2013年 鬼南小 タイ ホスト児童)

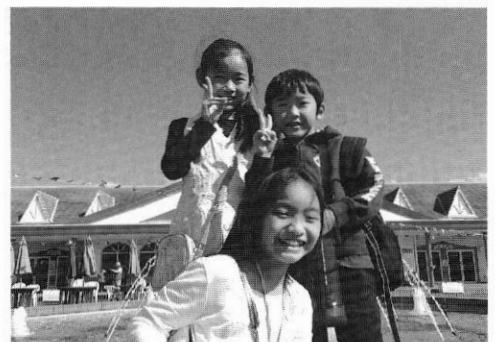
タイの友達(ユニーク)を受入した3週間で、私が今まで生きてきた一生分の喜び・悲しみを感じた気がします。受入が出来ると決まってからワクワクするのはもちろんの事、仲良く話せるかなという不安もありました。3週間という短い期間だったけど、ユニークとは本当の家族になれた気がします。

ユニークがタイに帰ってしまう前日「私が帰ったら手紙を読んでね」と家族宛に手紙をくれました。そこには家族全員の似顔絵とメッセージが書いてありました。空港にお見送りに行く前の日には多分泣いちゃうだろうなって思っていたけど、実際にお別れの時は今まで経験したことがないくらい今までで一番悲しくて目がポンポンにはれてしまいました。

ユニークと出会い、私は絶対にユニークに会いにタイに行くこと新しい目標を持つことが出来ました。

お互い誕生日などにはプレゼントを送りあったり、フェイスタイムをしています。今でもユニークは家族と同じくらいとてもとても大切な友達です。

国際交流をやれて本当によかったです。ありがとうございました。



服部 真里 (2013年 常東小 アメリカ ホストマザー)

家に来てくれた子は、アメリカのルーシーという女の子です。娘より二つ年上なので、姉が出来たみたいで、嬉しそうでした。最初は、お互いコミュニケーションに戸惑っていましたが、遊びを通じて溶け込んで、ルーシーは日本の習慣を覚えようと努力していました。その姿を見て、私も英語、料理を頑張りました。おにぎりを作ったり、うどん、回転寿司、カキ氷作り、どれも喜んで食べてくれました。言葉、環境が違っても、心を込めて接すれば通じ合うことができるんだと改めて感じました。

一年が経ち、2014年の夏にアメリカのシンシナティへ行きました。不安は沢山ありましたが、ルーシーの家族は温かく迎えてくれました。シンシナティは、大きな川、素晴らしい公園があり、いい所でした。動物園、博物館、野球観戦、毎日楽しく過ごせました。

お互いの家族を知れて、より気持ちが深まりました。このような経験が出来たのはTSIEのおかげです。ありがとうございました。



成田 勝之 (2012年 常西小 インド ホストファーザー)

2012年の夏にインドの派遣生を受け入れました。期間中は文化の違いからくる行き違いはあったものの、お互いの文化、習慣、立場を尊重しつつ歩み寄りができ、相互理解が進んだのかなと思います。我が家にながらインドの文化に触れることが出来、また、日本ではあたり前の事がそうではないことに気づかされる日々でした。派遣生のリシャブは哲学的、宗教的な考えをしっかりと持っており、大人びている半面、自己主張も強く日本のアニメが大好きな「12歳の多感な少年」といった感じでした。時折、気遣いを見せる場面もあり、期間中、少しの苦労とそれ以上に多くの笑いや親として貴重な経験をさせていただきました。

無事に事故怪我もなく、ステイの期間が終了したことが何よりでした。このような経験をさせていただいたのは関係各位の大きな力があればこそと心より感謝を申し上げますとともに、本事業が今後もますます発展されます事をお祈り申し上げます。



関 なのは (2014年 西北小 オーストラリア ホスト児童)

私がクリスティンと過ごして一番楽しかった事は、長島の海水プールに行ったことです。そこには、怖そうで変な形をしたスライダーがたくさんありました。私はジェットコースターや高い所が苦手です。いっぽうクリスティンはジェットコースターが大好きです。クリスティンがウキウキな顔で「トライ！トライ！」と言ってきたので、怖そうなスライダーをやることになりました。階段をのぼっているとき、私の足がふるえているのを見て、クリスティンは背中をポンポンとたたいてはげましてくれました。私達はうきわに乗りスタートしました。私は初めからずっとさげんでいましたが、クリスティンはケラケラ笑っていました。私一人では絶対チャレンジしなかったことを二人では出来て、びっくりしました。クリスティンは、とても明るくやさしい性格です。だから私もこんな人になりたいと思いました。



平岡 拓斗 (2013年 西南小 タイ ホスト児童)

僕は母がホストファミリーをすることに始めはあまり興味が無かったです。でも、パン君が僕の家に来ることが決まった時は少し嬉しくなりました。

はじめの2日は緊張してなかなか自分から話し掛けることができませんでした。パン君もちょっとホームシックになって泣いていました。僕はパン君が家族から離れて一人でホームステイをして勇気があると思いました。それから僕達は仲良くなりました。

一緒に学校の遊具で遊んで楽しかったです。パン君はターザンロープがお気に入りでした。パン君は将来自分で会社を作って社長になりたいそうです。僕の今の夢は考古学者になり外国の遺跡発掘をすることです。

だから、僕は英語がもっと話せれるようになりたいと思いました。

外国に友達がいることは楽しいことだと思います。僕はパン君と友達になってタイが大好きになりました。



谷田 恵美 (2012年 小鈴谷小 中国 ホストマザー)

我が家の紫色の小さな車は「プータウ」といいます。中国との交流が終わり、ほどなくしてやってきたこの車に、私たち家族は中国語で「葡萄」を意味する「プータウ」と愛称を付けました。

我が家にホームステイしたのは5年生の女の子、シンイー。彼女は小柄でかわいらしく、ちょっぴりわがままな女の子でした。来て早々ホームシックで泣いてばかり…。集合写真に写りたくないと言ったり、拗ねた態度で周りとなじまず、初めの一週間はとても大変でした。接し方がよくないのかと家族で悩んだりもしました。

でも、二週目には彼女も頑張り、我が家の2人の息子たちとも仲良くしてくれました。私も娘ができたようで嬉しく、一緒に編み物をしたり、家族で楽しいひと時を過ごすことができました。

今でも「プータウ」を見るたびに、シンイーのことを想います。初めての国際交流でのほろ苦く、楽しい思い出とともに…。



異文化体験をして

中村 有一郎 (2014年 三和小 マレーシア派遣児童)

僕はマレーシアのご飯が少し苦手でした。でもホストファミリーがとても優しく接してくれて、楽しく食べることが出来ました。このことは今も心に残っています。

マレーシアの人達は1日に5食ぐらい食べるそうです。僕も一緒に1日の中でいろんな物を食べました。

他に僕は色々な所に連れて行ってもらいました。チョコレート工場や博物館、他の学校に行ったり、クアラルンプールのツインタワーも見に行ったりして、毎日がとても楽しかったです。

ホストファミリーのハイカルはすごく明るい子で、僕は退屈しませんでした。妹や弟もいて可愛かったです。お父さんとお母さんはとても優しく、僕のことをとても気にかけてくれました。3人のお手伝いさんもとてもいい人達で、僕が日本へ帰るときに泣いていたのを思い出します。

みんなのおかげでマレーシアで過ごした17日間は、とても良い思い出になりました。次はハイカルが日本へ来る番です。その時は、楽しい思い出をたくさん作ってあげたいです。



小倉 和奏 (2012年 常東小 オーストラリア派遣児童)

初めて外国に行きました。自分の英語は通じるかどうか、買い物はきちんとできるか、心配なことは数えきれないほどありましたが、私を優しく受け入れてくれたホストのJadeとホストファミリーのおかげでとても充実した日々を送ることができました。

英語で自分の意思を伝えることは簡単なことではありませんでしたが、英単語とジェスチャーを使い、理解してもらうことができました。また、私には簡単な英語で話しかけてくれたのでとても感謝しています。

初めて外国のお金をさわった感想は「おもちゃみたい」です。お札はプラスチックでできていて、硬貨は日本の物よりもずっと重かったです。

私がオーストラリアで学んだことは人種が違って同じ「人」ということです。Jadeと同じタイミングで笑ったり、好きなアイドルの話をしたり、恋の話をしたり・・・。

三週間という、短い期間の留学でしたが、何一つと忘れることのできない大切な経験です。今度はJadeと日本で会いたいです。



山口 穂乃佳 (2013年 常西小 タイ派遣児童)

去年、タイのバンコクに三週間常滑西小の代表として派遣されました。ユニークの家に滞在して楽しい時間を過ごし、帰ってきてからFacebookやLINEを使って交流を続けて、今年の夏休みに母とホストファミリーに会いに12日間タイに行きました。ユニークが、「ほのは去年来た時よりも笑っている。」と言いました。去年はユニークが英語で話しかけてくれるんだけど、何を言っているのかわからなくて、笑う余裕がなかったんだと思います。

チャンスがあったらホストを試してみたいと思い、今年立候補しました。10月13日から11月2日までの三週間、メキシコ人のモンセと朝一緒に犬の散歩をしたり、週末家族で出かけたりして、たくさんの思い出ができました。三週間が一週間のように感じるくらいあっという間でした。血は繋がってないけど家族になれたと思いました。TSIEのおかげでタイとメキシコに家族ができました。

私の姉は、去年私の様子を見て英語が話せたほうが良いと考え、国際コースのある高校への進学をしました。今度、姉の高校に来ている台湾からの留学生がホームステイします。我が家では確実に国際化が進んでいます。

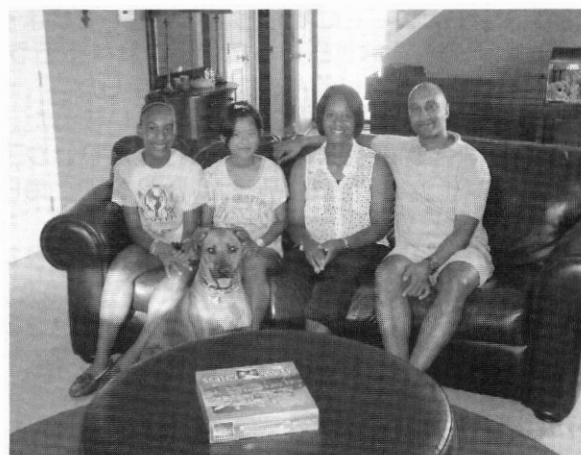


久田 海央 (2013年 西北小 アメリカ派遣児童)

私は、2013年8月8日～29日までアメリカのベサニー小学校へ行きました。

アメリカ派遣してから2年が経ちましたが、印象に残っていることは、シンシナティレッズ (野球)を見たこと、学校にお菓子タイムがあることなどです。とても良い思い出として心に残っています。

自分の伝えたいことが相手に伝わるか心配なことがたくさんありました。言葉の壁は難しかったです。でも、3週間ジェスチャーだったり、辞書を調べ伝えました。伝わった時は嬉しかったです。今までにない経験ができたので、これからもこのような交流が続いてほしいです。



木下 裕也 (2011年 西南小 コスタリカ派遣児童)

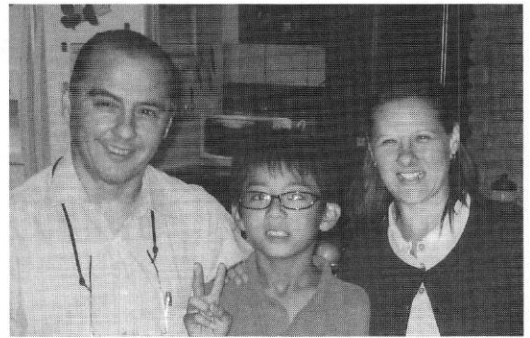
2011年8月、当時小学6年生だった僕は、国際交流の一環として、初めてコスタリカという国に行きました。

行く前に英語やスペイン語をほんの少し覚えただけの僕は、ちゃんとコミュニケーションが取れるかとても心配でした。だけど実際に行ってみたらそんな心配は全くありませんでした。

それは、僕のホストファミリーが、分かりやすいスペイン語や英語、ジェスチャーや指さし本などを使って、一生懸命僕を理解しようとしてくれたからです。そのお陰で、最初はほとんど分からなかったけれど、最後の方には相手が何を言っているか何となく分かるようになってきました。たった3週間の滞在でこんな風になるとは、正直期待していませんでした。

この経験を通して、僕は相手のことを理解しようと思いやって行動することの大切さを教えてもらいました。今の生活でもぜひそれを実践していきたいと思っています。

そして人間としてもっと成長し、いつかまたコスタリカの家族に会いに行きたいと思っています。



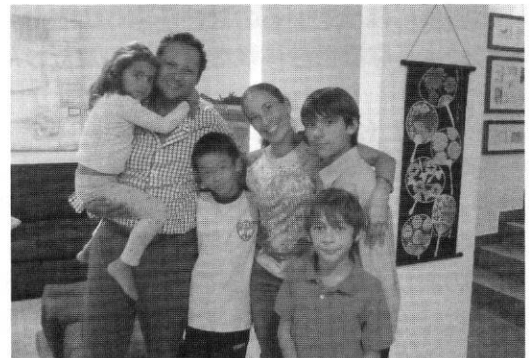
鈴木 涼介 (2013年 小鈴谷小 メキシコ派遣児童)

僕は、2013年の夏休みに、メキシコのプエナティエラ小学校に行ってきました。派遣団に応募したきっかけは、2年生の時にメキシコのリーダー、4年生の時に中国のリーダー2人のホストファミリーをした時、食べ物や建物、言葉、文化などいろいろ教えてもらったので、僕も外国へ行って日本と違うところを自分の目で確かめたいなあ、そして日本のこともたくさん教えてあげたいなあと思ったからです。

出発前のカルチャーショーやスペイン語の練習は、僕はなかなかできなかったのですが、言葉が伝わるか、2週間も家族と離れてさみしくならないか不安でいっぱいでした。でも派遣団の仲間やリーダーの先生と一緒にいたのと、ホストがとても優しく本当の家族のように迎えてくれたので安心して過ごすことができました。

メキシコでは、1日に5回も食事をすることや、トイレやお風呂の使い方が日本とは違うことなど驚くことがたくさんあって勉強になりました。そして僕はホスト家族に、おにぎりを作ってあげ、日本の写真やあそび等を紹介しました。漢字で書いた名前のカードを配ったらとても喜ばれました。言葉は通じなくても、ジェスチャーを使ったりして気持ちは通じました。

2週間という短い期間だったけど、ホストとは本当の家族のようになれました。別れるのはとても寂しくて帰国するときに泣けてしまいました。この2週間は絶対に忘れません。また、もう一度メキシコに行ってホストと再会したいと思います。そしてこれからももっとももっとたくさんの国の友達を作って交流したいです。



竹内 志奈 (2012年 大野小 インド派遣児童)

私は小学5年生の夏に、TSIE派遣団としてインドへ行きました。インドでは沢山の友達をつくる事が目標でした。英語が話せなかった私は、持ち前の明るさとジェスチャーで、沢山の子どもと毎日コミュニケーションしました。二週間のインド滞在中に日本に帰りたいとは一度も思いませんでした。

やがて友達も沢山出来て、「Best Friend」と書いた腕輪をプレゼントしてくれる子もいました。「インドに来てよかった、毎日が記念日みたいに楽しい!」と思う程でした。

こんな良い思い出が出来たのは、インドの人たちが親切にしてくれて、私たちを受け入れてくれたからだと思います。感謝してもきれないくらいです。

私は大きくなったら、もう一度インドを訪れ、ホストファミリーや友達に会いたいです。そして将来は海外で人の役に立つ仕事に就き、みんなを笑顔に出来る人になりたいと思っています。インドは私を成長させてくれ、夢をもたらしてくれた場所です。

私がインドでこのような体験が出来たのは、周りで支えて下さった皆さんのお陰だと思っています。決して一人ではこのような体験は出来なかったと思います。TSIEという団体があったからこそ、私はこんな良い体験をさせてもらったのだと思います。支えて下さった皆さん、そしてTSIEに心から感謝しています。この気持ちは生涯忘れません。



引率者のひとり言

伊藤 味穂子 (2014年 三和小 マレーシア引率者)

2014年8月4日から21日まで、マレーシアのラジャムダ小学校への派遣事業に参加することができました。リーダー2名、児童6名による派遣団はカルチャーショーで披露するよさこいソーランとリコーダー演奏に夏休み前から取り組みました。また、マレーシアへのお土産作りでは、しおりと5円玉ストラップをたくさんの方の協力を得て取り組みました。皆さんの思いが通じてマレーシアの人には大好評でした。



マレーシアの生活は慣れないことも多くありましたが、1週間も過ぎれば子どもたちもマレーシアの生活になじんでいました。食生活では、出されるものはおいしくいただくことができました。ホストファミリーの皆さんにもとてもよくしていただき、いろんな観光地へ連れて行っていただけたようです。中でも、私が一番印象に残っているのは、王宮への表敬訪問とFMクアラルンプールへのラジオ出演です。

このような貴重な体験をさせていただけたことに心から感謝しています。

赤井 宏行 (2011年 大野小 メキシコ引率者)

国際交流で得られるものは、計り知れません。私自身、常滑で生まれ育ったので、小学校時代にTSIEでオーストラリアからシェーンという児童を受け入れました。ラーメンのおいしさに感動していたことや毎日お風呂につかることにびっくりしていた記憶が今でも蘇ってきます。シェーンとは、兄弟のように仲良くなり、その翌年の冬休みにプライベートでオーストラリアに行きました。驚きと感動の連続の中で、色んな価値観に触れ、子どもながらに成長していたと思います。楽しいことばかりでしたが、途中で日本に帰りたと思うこともありました。今思えば、他国の良さだけでなく、日本の良さに改めて気付くことができていたのです。引率者としてメキシコを訪問して帰国した時に、派遣団の子どもたちが「メキシコもよかったけどやっぱり日本がいいな。」とつぶやいた時、なんだか嬉しくなりました。これから



一人でも多くの子もたちが、国際交流の良さに触れてほしいと願っています。

北川 晶嗣 (2010年 常東小 オーストラリア引率者)

常滑市児童生徒国際交流推進協議会(TSIE)が創立20周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

2010年8月、常滑東小学校の4名の子どもたちと同僚のリーダーとともに、オーストラリア・ロービル小学校での3週間を過ごしました。言葉の壁を気持ちで乗り越えていった子どもたち。心が通じ合った時の温かな感覚から、「Heart to Heart(心から心へ)」という国際交流の原点を体験することができました。また、合言葉のように「人生を楽しもう」と話し、家族や友人との時間を大切に作るホストファミリーの姿から、多くのことを学びました。



常滑に降り立った時の充実感にあふれた子どもたちの表情は、今でも強く印象に残っています。

20年間で培われた世界とのつながりが絶えることなく、さらには、これからも新たな交流が創られ続けていくことを祈念いたします。

加藤 真治 (2013年 常西小 タイ引率者)

創立20周年、おめでとうございます。

私は平成25年の夏に、タイ派遣団のリーダーとして3週間の派遣に参加させていただきました。たくさんの方々の支えがあり、派遣児童と共にとっても充実した生活を送ることができました。派遣事業に参加して、感じたことがあります。それは「言葉は通じなくても心は通じる」ということです。派遣児童を見ていて、言葉がうまく通じなくても、ホストファミリーや学校の子どもたちとよく馴染んでいて、とても楽しそうでした。私自身もタイ語を全く

話すことができませんでしたが、有意義な時間を過ごすことができ、今でもホストファミリーと交流を続けています。また、タイの学校からの日本への訪問時には、子どもたちや先生たちと再会を果たすことができ、とても喜ばしいことでした。この派遣事業は、世界の人たちとの強いつながりを得ることができる素晴らしいものだと思っています。今後もさらなるご発展をお祈り致します。



成瀬 真吾 (2013年 西北小 アメリカ引率者)

20周年おめでとうございます。

ベサニー小学校への派遣から、早くも1年以上が過ぎました。アメリカでの生活で学んだことや感じたことが、今の私を様々な面から支えてくれているように感じています。

私は平成25年度の派遣授業に参加し、アメリカ・シンシナティで3週間過ごしました。前半は交流や観光が、後半は学校での授業参加が主な活動でした。観光では、大リーグ観戦や街の散策に出かけました。学校では、美術や算数の授業に参加したり、一緒に校外学習に出かけたりしました。クラスレッスンでは、折り紙や盆踊りをベサニー小の子供たちに教えました。クラスレッスンで印象に残ったのは、子供たちの笑顔がたくさん見られたことです。派遣児童たちが笑顔でいると、ベサニーの子たちも笑顔になっていました。とても充実した時間が過ごせました。

これからも、たくさんの子供たちが、国際交流によって素晴らしい経験ができることを願っています。20周年、おめでとうございます。



今井 佑佳 (2013年 小鈴谷小 メキシコ引率者)

2013年8月、私は小鈴谷小学校のメキシコへの派遣団の引率として、この国際交流に参加させて頂きました。交流の様子は今でも鮮明に覚えています。

委員会や保護者の方とともに、毎日のようにカルチャーショーや出発の準備を行い始まった派遣事業でした。メキシコの空港に到着したときのホストファミリーの温かい歓迎や、子どもたちの成長する姿、自分のホストファミリーと過ごした日々、ここには書ききれない思い出が今でもたくさん残っています。

私は小学生の頃、TSIEの派遣・受け入れ事業に参加していませんでした。しかし今思えば、英語に興味を持ち、勉強したいと思えた最初のきっかけは、小学生の頃にTSIEの事業で交流した、外国の友だちだったと思います。

派遣や受け入れに参加した子はもちろん、参加していない子も、交流を通して外国に興味を持ち、この事業が英語や他の国の言葉を勉強したいと思えるきっかけになってくれることを願っています。



TSIE活動報告

藤田 幸恵 (TSIE事務局長)

TSIEは、規約にありますように、常滑市内の児童生徒に国際事業を通じて様々な体験を与え、国際経験の重要性を理解してもらえよう、各校区の国際交流委員会や学校とともに活動しています。

また、TSIEは『子ども達が、色々な国の子ども達と生活を共にすることで、互いに影響しあい学びあい、地球規模で平和をはぐくみ、理解しあうことを目的とする』ISSEのプログラムを活用しています。

《TSIEの主な活動》

- ・ 定例本部会、役員会 (月一回)
- ・ リーダー研修会、リーダー反省会
- ・ 市長表敬訪問 (派遣団)
- ・ 教育委員会との懇談会
- ・ ISSE本部との連絡調整、報告、相手校の決定
- ・ ISSE委員会 (月一回)
- ・ ISSEカンファレンス (世界会議) への参加
- ・ 公民館まつりへの参加
- ・ 総会
- ・ 結団式、帰国報告会
- ・ 海外からの派遣団リーダーとの懇親会

多くの方々のご参加、ご支援により20年間、この活動を継続することができました。

TSIEの国際交流活動が、未永く続くことを願うとともに、ご協力いただきました多くの皆様に、心から感謝申し上げます。

ISSEカンファレンスの思い出

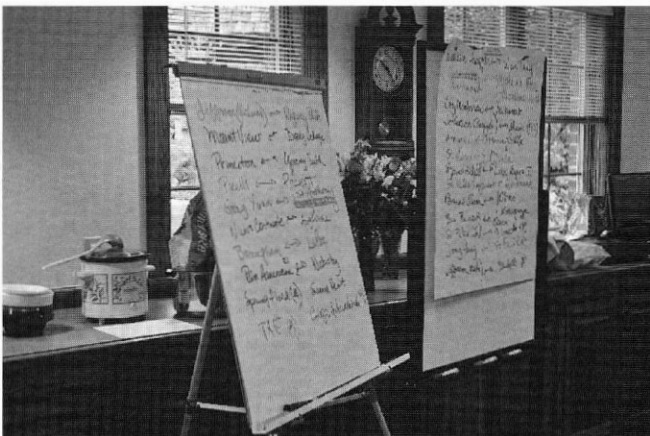
都築 明美 (TSIE副会長)

カンファレンスは2年に一度、偶数年に各国持ち回りで開いています。2006年マレーシア、2008年コスタリカ。2010年7月に初めて日本の常滑で開催されました。2012年7月アメリカ・シンシナティ、2014年4月オーストラリア・メルボルンで各国代表が集まりました。毎回JAPAN REPORTを作成し出席しています。事前にTSIEの皆さんの意見を反映した議題を提出して、会議当日、代表者で意見を交換し、さらにより良い交流を目指しています。

2016年はエクアドル、2018年中国柳州で開催予定です。その後はメキシコあたりで開かれると思います。多くの方々とお出会うのが楽しみです。



2010年常滑でカンファレンス



2012年シンシナティでの組み合わせ抽選会

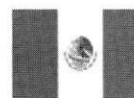
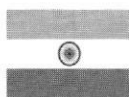


2014年マウントビュー校での会議風景

1995~2014 受入・派遣事業を行った学校

受入 受入事業を行った学校

◆三和小学校◆	6回	37人
*オーストラリア	3回	19人
*マレーシア	2回	12人
*メキシコ	1回	6人
◆大野小学校◆	7回	42人
*オーストラリア	3回	16人
*マレーシア	1回	6人
*タイ	1回	6人
*メキシコ	2回	14人
◆鬼崎北小学校◆	2回	12人
*オーストラリア	1回	6人
*マレーシア	1回	6人
◆鬼崎南小学校◆	5回	36人
*オーストラリア	3回	20人
*インド	2回	16人
◆常滑東小学校◆	7回	60人
*オーストラリア	3回	27人
*マレーシア	1回	8人
*メキシコ	1回	6人
*インド	1回	10人
*アメリカ	1回	9人
◆常滑西小学校◆	7回	43人
*オーストラリア	2回	12人
*マレーシア	1回	6人
*タイ	2回	12人
*インド	1回	5人
*メキシコ	1回	8人
◆西浦北小学校◆	7回	54人
*オーストラリア	3回	27人
*アメリカ	1回	4人
*メキシコ	2回	17人
*マレーシア	1回	6人
◆西浦南小学校◆	7回	43人
*オーストラリア	5回	31人
*マレーシア	1回	6人
*コスタリカ	1回	6人
◆小鈴谷小学校◆	4回	26人
*オーストラリア	1回	6人
*メキシコ	1回	8人
*中国	1回	6人
*タイ	1回	6人
◆青海中学校◆	1回	8人
*マレーシア	1回	8人
◆南陵中学校◆	1回	8人
*マレーシア	1回	8人
◆ ISSE ◆	1回	8人
*タイ	1回	8人
計	54回	377人



派遣 派遣事業を行った学校

◆三和小学校◆	8回	49人
*オーストラリア	3回	20人
*マレーシア	3回	17人
*メキシコ	1回	6人
*タイ	1回	6人
◆大野小学校◆	8回	53人
*オーストラリア	3回	24人
*マレーシア	1回	6人
*タイ	1回	6人
*メキシコ	2回	12人
*インド	1回	5人
◆鬼崎北小学校◆	3回	16人
*オーストラリア	2回	10人
*マレーシア	1回	6人
◆鬼崎南小学校◆	7回	47人
*オーストラリア	5回	34人
*インド	1回	7人
*マレーシア	1回	6人
◆常滑東小学校◆	9回	60人
*オーストラリア	6回	42人
*マレーシア	1回	6人
*インド	1回	6人
*メキシコ	1回	6人
◆常滑西小学校◆	6回	41人
*オーストラリア	2回	14人
*マレーシア	1回	6人
*タイ	3回	21人
◆西浦北小学校◆	6回	33人
*オーストラリア	3回	17人
*アメリカ	2回	10人
*マレーシア	1回	6人
◆西浦南小学校◆	4回	24人
*オーストラリア	2回	14人
*マレーシア	1回	7人
*コスタリカ	1回	3人
◆小鈴谷小学校◆	2回	14人
*メキシコ	2回	14人
◆市内中学校合同◆	2回	16人
*マレーシア	2回	16人
計	55回	353人

1995				児童	引率
常東小	派遣	オーストラリア	ロービル小	8	2
常西小	派遣	オーストラリア	アップウェイ小	8	2
	受入	オーストラリア	アップウェイ小	6	1
鬼南小	受入	オーストラリア	ロービル小	6	1

1996				児童	引率
鬼南小	派遣	オーストラリア	ロービル小	8	2
常東小	派遣	オーストラリア	ベルグレーブサウス小	10	2
	受入	インド	シティモンテソーリ小	10	2
西北小	受入	オーストラリア	ベルグレーブサウス小	6	2
常西小	受入	オーストラリア	コカトゥ小	6	2

1997				児童	引率
鬼北小	派遣	オーストラリア	ベルグレーブサウス小	6	2
西北小	派遣	オーストラリア	コカトゥ小	6	2
鬼南小	派遣	マレーシア	スバンジャヤ小	6	2
	受入	オーストラリア	ラングウォーリン小	8	2
常東小	受入	オーストラリア	ベルグレーブサウス小	10	3
大野小	受入	オーストラリア	ロービル小	6	1

1998				児童	引率
三和小	受入	オーストラリア	アップウェイサウス小	7	2
	派遣	オーストラリア	アップウェイサウス小	7	2
大野小	派遣	オーストラリア	ロービル小	8	2
鬼南小	派遣	オーストラリア	ラングウォーリン小	8	2
常東小	派遣	インド	シティモンテソーリ小	6	2
常西小	受入	オーストラリア	ロービル小	6	2
西北小	受入	アメリカ	グラハム小	4	2
西南小	受入	オーストラリア	リージェンシーパーク小	6	2

1999				児童	引率
常西小	派遣	オーストラリア	ロービル小	8	2
西南小	派遣	オーストラリア	リージェンシーパーク小	10	2
大野小	受入	オーストラリア	カウズ小	10	2
鬼南小	受入	インド	シティモンテソーリ小	6	2
常東小	受入	マレーシア	シャーアラームセクション9小	6	2

2000				児童	引率
大野小	派遣	オーストラリア	カウズ小	8	2
鬼南小	派遣	インド	シティモンテソーリ小	7	3
常東小	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション9小	6	2
西北小	派遣	アメリカ	グラハム小	5	2
三和小	受入	オーストラリア	ベルグレーブサウス小	6	2
鬼北小	受入	マレーシア	シャーアラームセクション9小	6	2

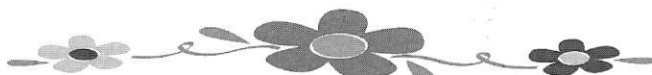
2001				児童	引率
三和小	派遣	オーストラリア	ベルグレーブサウス小	9	2
鬼北小	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション9小	6	2
中学校	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション9中	8	2
大野小	受入	オーストラリア	ラングウォーリン小	6	2
鬼南小	受入	インド	シティモンテソーリ小	8	2
常東小	受入	オーストラリア	ロービル小	8	2
西北小	受入	オーストラリア	リージェンシーパーク小	8	2
西南小	受入	オーストラリア	アップウェイサウス小	8	2

2002				児童	引率
大野小	派遣	オーストラリア	ラングウォーリン小	8	2
鬼南小	派遣	オーストラリア	コカトゥ小	6	2
常東小	派遣	オーストラリア	ロービル小	6	2
常西小	派遣	タイ	デモンストレーションスクール	7	2
西北小	派遣	オーストラリア	リージェンシーパーク小	5	2
西南小	派遣	オーストラリア	アップウェイサウス小	6	2
三和小	受入	マレーシア	シャーアラームセクション4小	6	2
青海中	受入	マレーシア	シャーアラームセクション9小	8	2

2003				児童	引率
西北小	受入	メキシコ	センカ学園	6	1

※SARS問題の影響で、その他の事業を見合わせ

2004				児童	引率
三和小	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション4小	5	2
常東小	派遣	オーストラリア	ウィーデンハイツ小	6	2
中学校	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション2中	8	2
鬼南小	受入	オーストラリア	リージェンシーパーク小	6	2
常西小	受入	タイ	ブラザーズミット小	6	2
西南小	受入	マレーシア	スリクアラランブール小	6	2



2005				児童	引率
三和小	派遣	オーストラリア	コカトゥ小	4	2
鬼南小	派遣	オーストラリア	リージェンシーパーク小	6	2
常西小	派遣	タ イ	ブラサンミット小	6	2
西南小	派遣	マレーシア	スリクアラルンプール小	7	2
大野小	受入	マレーシア	ラジャムダ小	6	2
常東小	受入	オーストラリア	ウィーデンハイツ小	9	2
南陵中	受入	マレーシア	シャーアラームセクション2中	8	2

2006				児童	引率
大野小	派遣	マレーシア	ラジャムダ小	6	2
鬼南小	派遣	オーストラリア	ウィーデンハイツ小	6	2
常東小	派遣	オーストラリア	セルビー小	6	2
三和小	受入	オーストラリア	コカトゥ小	6	2
常西小	受入	タ イ	ブラサンミット小	6	2
西北小	受入	オーストラリア	リージェンシーパーク小	6	2
西南小	受入	オーストラリア	ロービル小	6	2

2007				児童	引率
常西小	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション7小	6	2
西北小	派遣	オーストラリア	リージェンシーパーク小	6	2
西南小	派遣	オーストラリア	ロービル小	5	2
三和小	受入	メキシコ	トーマス・アルバ・エジソン校	6	2
大野小	受入	タ イ	ブラサンミット小	6	2

2008				児童	引率
三和小	派遣	メキシコ	トーマス・アルバ・エジソン校	6	2
大野小	派遣	タ イ	ブラサンミット小	6	2
常東小	受入	メキシコ	ブレナティエラ校	8	2
常西小	受入	マレーシア	シャーアラームセクション7小	6	2
西北小	受入	メキシコ	オリンカ校	7	2
西南小	受入	オーストラリア	アップウェイサウス小	6	2
小鈴谷小	受入	オーストラリア	ロービル小	6	2

2009			
※新型インフルエンザにより事業中止			

2010				児童	引率
三和小	派遣	タ イ	ブラサンミット小	6	2
常東小	派遣	オーストラリア	ロービル小	4	3
大野小	受入	メキシコ	プリンストン小	6	2
西北小	受入	マレーシア	シャーアラームセクション9小	6	2
西南小	受入	コスタリカ	セントアンソニー小	6	2
小鈴谷小	受入	メキシコ	アメジャリ小	8	2

2011				児童	引率
大野小	派遣	メキシコ	プリンストン小	6	2
西北小	派遣	マレーシア	シャーアラームセクション9小	6	2
西南小	派遣	コスタリカ	セントアンソニー小	3	2
小鈴谷小	派遣	メキシコ	アメジャリ小	8	2

2012				児童	引率
三和小	派遣	マレーシア	ラジャムダ小	6	2
大野小	派遣	インド	シティモンテソーリ小	5	2
常東小	派遣	オーストラリア	リージェンシーパーク小	6	2
常西小	受入	インド	シティモンテソーリ小	5	2
西北小	受入	メキシコ	プリンストン小	4	1
小鈴谷小	受入	中国	コウエンロ小	6	2

2013				児童	引率
常西小	派遣	タ イ	ブラサンミット小	8	2
西北小	派遣	アメリカ	ベサニー小	5	2
小鈴谷小	派遣	メキシコ	ブレナティエラ小	6	2
三和小	受入	マレーシア	ラジャムダ小	8	2
大野小	受入	メキシコ	ブレナティエラ小	8	2
常東小	受入	アメリカ	ベサニー小	9	2
ISSE	受入	タ イ	ブラサンミット小	8	2

2014				児童	引率
三和小	派遣	マレーシア	ラジャムダ小	6	2
大野小	派遣	メキシコ	ブレナティエラ小	6	2
常東小	派遣	メキシコ	トーマス・アルバ・エジソン校	6	2
常西小	受入	メキシコ	トーマス・アルバ・エジソン校	8	2
西北小	受入	オーストラリア	ウィーデンハイツ小	7	2
小鈴谷小	受入	タ イ	ブラサンミット小	6	2



(名 称)

第1条 本会の名称を、常滑市内児童生徒国際交流推進協議会（Tokoname City students' International Exchange Conference Association以下「TSIE」という）とする。

(目 的)

第2条 TSIEは、地球的な平和に参加、貢献する事をもとに、常滑市内の児童生徒（小、中学生）に、国際交流事業を推進することにより、さまざまな体験、機会を与え、児童生徒及びその活動関係者が国際経験の重要性を理解、認識するよう努めることを目的とする。

(事業及び運営)

第3条 TSIEは、前条の目的を達成するために、教育委員会及びPTAとの協力を得つつ、次の事業を行う。

- (1) 常滑市内における、国際交流のための外国からの児童生徒の受け入れ事業
- (2) 常滑市内における、児童生徒の国際交流のための海外派遣事業
- (3) その他、前条の目的の達成に必要な事業

2、TSIEは、教育委員会、PTA及び市民ボランティアの活動によって前項各号の事業運営に寄与するものとする。

(会 員)

第4条 TSIEは、第2条の趣旨に賛同する者及び第2条の趣旨に賛同する市内小中学校により構成する。

2、TSIEの入会については、指定書式申し込み書を、役員会に提出し役員の承認を持って登録、入会とする。

3、TSIEの会員の退会については、委員長又は事務局を通し、役員会の承認をもって退会とする。

4、会員は各年度総会后、1ヶ月以後をもって会費の納入の無い会員は会より退会した事として扱う。

(組 織)

第5条 TSIEに、次の役員を置き、役員会を構成する。

- | | | | | | |
|----------|----|---------|-----|-----------|-----|
| (1) 会 長 | 1名 | (2) 副会長 | 若干名 | (3) 会 計 | 1名 |
| (4) 事務局長 | 1名 | (5) 委員長 | 若干名 | (6) 事業代表者 | 若干名 |

2、役員は、総会において会員の中から選任する。

3、役員が欠けた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4、役員の任期は、一年とし、再任を妨げない。

5、役員は委員会の委員を兼ねることが出来る。

6、副会長の内1名は、各学校単位において派遣、受け入れ事業等を担当する団体の代表者とする。

7、役員とは別途、役員会の承認を持って会長の任命により監査を2名置く。

8、役員とは別途、役員会の承認を持って会長の任命により顧問を置くことができる。

(役員及び監査、顧問の職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2、副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。

3、会計は、経理を担当する。

4、事務局は、会務、総務及び庶務を担当し、会の円滑な運営と活動を行う。

5、委員長は、委員会を掌握し、実務を執行する。

6、事業代表者は、各事業実行団体の事業の円滑な運営を図り、団体の総意の意見を述べる。

7、監査は、会計を監査する。

8、顧問は、各専門事項等にわたり広く意見を述べる。

(役員会の任務等)

第7条 役員会は、総会の可決事項の範囲において、事業実務の事項を付議し、協議、執行する。

2、役員会は、会長又は役員の上申し出により会長が召集し、会長が議長となる。

3、役員会は、役員の上申し出により、会長の承認によって、役員以外の会員及び有識者等を出席させることができる。

4、役員会は、出席者の過半数で決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

5、会長は、随時、会員である市内小中学校に対し、経過を報告し、又は意見を聴取することができる。

(総会及び臨時総会)

第8条 総会は年1回会長が召集し、会長がその議長となる。なお、会長が必要と認めるときは、臨時に総会を召集することができる。

総会に付議する事項は、次のとおりとする。

- | | | |
|------------------|---------------------|---------------|
| (1) 予算の議決及び決算の認定 | (2) 事業計画及び事業報告の承認 | (3) 役員の変更及び承認 |
| (4) 規約の変更及び承認 | (5) その他、会長が重要と認める事項 | |

2、総会、臨時総会は会員をもって構成する。

3、総会、臨時総会は、出席者の過半数で決し、賛否同数の時は議長の決するところによる。

(事務局)

第9条 TSIEの庶務を処理するため、事務局を常滑市内に置く。

2、事務局は事業該当校中から各1名以上及び会員の中から若干名を選任する。

(委員会)

第10条 委員会とは、役員会の決議により、委員会を置くことができる。

2、委員会は、委員長1名、副委員長若干名を置き、委員会委員の中から定める。

3、委員会委員は、役員会の承認をもって会員の中から選任する。

4、委員会は、委員会の申し出により、委員長が召集し、委員長が議長となる。

5、委員長は、担当事業に係わる意見の聴取、取りまとめをし、委員会運営に関して、役員会において協議を計る。

6、委員会委員は役員及び事業実行団体より業務に関する委託、要望をうけ、その業務の円滑なる運営に務める。

(経 費)

第11条 TSIEの経費は、会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2、年会費は、500円とする。

3、会員の小中学校からは会費を徴収しない。

(会計年度)

第12条 TSIEの会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(その他及び緊急の場合の運用事項)

第13条 前条各項の定めのほか、必要な事項は、会長が役員会にはかつて定める。

2、緊急の場合には役員会の議決において、総会の決議に変わることが出来る。

(付則) この規約は、2003年5月9日から施行する。(年会費変更)



TSIE創立20周年事業実行委員会

実行委員長	福 田 泰 造	(TSIE会長)
委員	平 岡 守	(TSIE事務局)
式典	片 山 博 秋	(TSIE事務局)
	千 葉 千 早	(TSIE事務局)
	江 本 智 子	(大野小)
	土 屋 和 義	(常西小)
	磯 崎 雅 美	(常東小)
	久 田 貴美代	(西北小)
	平 岡 えみ子	(西南小)
記念誌	平 野 麗 子	(小鈴谷小)
	都 築 明 美	(TSIE事務局)
	土 居 晃 代	(TSIE事務局)
	尾之内 のり	(大野小)
	菅 勝 成	(三和小)
	菅 礼 子	(三和小)
	シンクレア 優子	(鬼南小)
	白 井 仁 美	(常東小)
	川 畑 加代子	(常東小)
	田 中 早 苗	(常西小)
	城 秀 子	(西北小)
	川 畑 理 絵	(小鈴谷小)
	榊 原 照 美	(西北小)
	久 田 恵 里	(西北小)
会 計	藤 田 幸 恵	(TSIE事務局)

